

◆ 授業案 3. コーヒーの秘密《南北問題が見えてくる!》

授業案作成:近藤恵津子 (NPO法人 コミュニティスクール・まちデザイン理事長)

- ◆ねらい: コーヒーのことを学びながら、コーヒーを通して消費者である自分たちと生産者たちのつながりを考えます。また、そこにある問題を知り、どうしたら自分たちが解決に関われるのかも考えます。
- ◆対象: 小学校高学年~大学生
*高校生、大学生では、★を省略・圧縮し、他のワークも変更する。
- ◆授業時間: 50分×3回
あるいは90分×1回
- ◆用意するもの
・電卓 (人数分)
・「コーヒーの秘密」
★新聞をつくるための模造紙/画用紙 (グループ分)

コーヒーの生産地の多くは、かつての植民地で現在の債務国。外貨を得るためにコーヒーを輸出している生産地の人びとの暮らしは、国際価格に左右されてしまいます。作る人と飲む人が対等につきあうために、何ができるかを考えます。解説資料つき。

日本人とコーヒー/コーヒーの起源/コーヒー・ブレイク①「コーヒーの実」/世界史の中のコーヒー/コーヒー・ブレイク②「つくられた紅茶の国」/コーヒー・ベルト/コーヒー生産国の現状/世界銀行と債務、生産国/価格決定のメカニズム/コーヒー・ブレイク③「コーヒーと日本人」/アジアのコーヒー/フェアトレード/メキシコのイスラム/コーヒーを飲んで考える



▶解説資料集と当授業案で使用する飢餓マップなどがWeb (www.parc-jp.org) よりダウンロードできます。

STEP1 コーヒーについて知ろう

- Act1** 興味を持とう (5分)
Q. 先生はコーヒーが大好き
コーヒーをそれほど飲まない小学生、中学生に対して授業をする場合は、コーヒーに興味をもってもらえるような導入の話をします。「○○にコーヒーを買いに行ったら、こんなものがあった」など、きっかけをつくり、コーヒーについて調べてほしいと参加者に調査を依頼します。
*高校生以上は、普段コーヒーをどれくらい飲むかを質問します。
- Act2** みんなで話してみよう (10分)
Q. コーヒーについて知っていることは?
どこで飲まれている? どこで使われている? コーヒーはどこで作っているの? 知っているメーカー名は? など、コーヒーについて参加者に話してもらい、黒板を「消費」「生産」「流通」の3つのブロックに分け、発言を書いていきます。
- Act3** みんなで話してみよう (5分)
Q. コーヒーについて知らないことは?
先のワークで、コーヒーが身近なものであることを確認した後に、知らないことについて発言してもらいます。発言が出ない場合には、「どれくらいコーヒーは飲まれているの?」「コーヒーって、どんな植物?」「いつからコーヒーは飲まれている?」など、質問をすることで興味を持ってもらいます。

VIDEO ビデオの導入部分(「日本人とコーヒー」、「コーヒーの起源」、「コーヒー・ブレイク①「コーヒーの実」」)を見る(10分)

Q. コーヒーについて知らないことは?

ビデオを流す前に、「今から見るビデオの中で、さっき知らなかったことの答えが出てくるから、メモをしながら見てみよう」と一声かけておきます。

Act4 みんなで話してみよう (10分)
★高校生、大学生は省略
Q. わかったことはなに?
まず、先のワークで出てきた「知らなかったこと」の答えを、5人ほどのグループでまとめてもらいます。その後、グループごとに発表します。

Act5 調べてこよう (10分)
★高校生、大学生は省略も可。あるいは全STEP終了後の宿題にしてもよい。

Q. コーヒー・ウォッチングをしてこよう!

宿題として、町にでてコーヒーを探してきてもらいます。飲み物としてのコーヒーだけでなく、お菓子やパンに使われているものなども見てもらうように誘導します。グループごとに「スーパー」、「カフェ」、「パン屋さん」、「ケーキ屋さん」など見てもらう場所を決めてもよいでしょう。また、産地が載っているコーヒーを示し、「どこから来ているコーヒーかも見てこよう」と言っておきます。値段についても見てくるように興味を喚起しておきます。



STEP2 コーヒーを作っている国を知ろう

- Act1** 調べてきたことを発表しよう (8分)
★高校生、大学生は省略
Q. どんなどころにコーヒーがあった?
どこでどんなコーヒーの売り方がされていたか、どこでどんなコーヒーの使われ方がされていたか、原産国の表示や値段はどうだったか、など、質問をしながらグループに発表してもらいます。ここで、コーヒーが身近にありながら、外国から来ているものであることを押さえておきます。
- VIDEO** 「世界史の中のコーヒー」、「コーヒー・ベルト」、「コーヒー生産国の現状」、「世界銀行と債務、生産国」*、「価格決定のメカニズム」、「アジアのコーヒー」をビデオで見る (10分)
Q. コーヒーを作っているのはどんな国?
小・中学生には難しい内容が出てくるため、「ビデオに出てくる国の名前を書いて、コーヒーを買っている国と作っている国に分けてみよう」、「コーヒーを作っている国ではどんなことが起きているのかな?」「それは、どうして起きているのかな?」と、注目するポイントをビデオを見せる前に話します。
*高校生以上は「世界銀行と債務、生産国」の場面も見ます。
- Act2** みんなで話してみよう (10分)
Q. コーヒーを作っている国で、どんなことが起きていた? それはどうしてだった?
ビデオの中に、どんな国が出てきたか、その国は買っている国か作っている国か、作っている国ではどんなことが起きているか、どうして起きているのかをグループで話し合い、発表してもらいます。
- Act3** 先生の話 (5~7分)
Q. どうして食べられないコーヒーを作っているのかな?
国連食糧農業機関 (FAO) が出している飢餓マップを見せ、コーヒーの生産国と一緒に探します。その上で、「ごはんが食べられないのにどうしてコーヒーを作っているのか」を説明します。
例) 私たちが家を建てる時に借金をすることがあるように、道路を作ったりするために国も借金をすることがあります。借りたお金を返すために、自分たちで食べる食べ物ではなく、売ることのできる作物を作っているのです。
*高校生以上の場合は、ビデオで見たことを参考に、自分たちで考えてもらってもいいでしょう。
- Act4** 計算をしてみよう (5分)
Q. ○○円で私たちが買っているコーヒー。作った人が手にするお金はいくら?
コーヒー・ウォッチングで出てきた価格から、生産者が手にするお金の金額を計算します。ビデオに出てくる「生産者が手にする価格は、小売金額の2パーセント」というところをヒントに考えてもらいます。
- Act5** 話し合ってみよう (5分)
Q. 今のコーヒーのしくみをどう思う?
ビデオを見たり、話を聞いたりして感じたことを話してもらいます。「自分もしコーヒー生産者だったらどう?」というような発問で、生産者の立場に視点を向けます。
- Act6** 考えてこよう (5分)
Q. コーヒーについてどんなことがわかった? どんな生産がされたい? どんな消費がされたい?
宿題として、2回の授業でコーヒーについてわかったことをまとめてきてもらいます。同時に、どんなふうにコーヒーとつきあったらいいか、考えてきてもらいます。

STEP3 コーヒーの向こう側とつながろう

- Act1** 考えてこよう (5分)
Q. どんな生産がされたい? どんな消費がされたい?
考えてきたことを話してもらいます。
- VIDEO** 「フェアトレード」、「メキシコのイスラム」、「コーヒーを飲んで考える」をビデオで見る (7分)
Q. どんな取り組みがあるのかな?
今のしくみを変えていく1つの例として、ビデオの中の事例を見ます。
- Act2** 話してみよう (8分)
Q. 新しい取り組みはどんなしくみだったかな?
「直接」生産者と取引をすること、価格を保証することを押さえます。
- Act3** 新聞をつくろう (30分)
★高校生、大学生は省略
Q. コーヒー好きな人たち、でもコーヒーの向こう側を知らない人たちに伝えたいことは?
宿題でまとめてきてもらったことに、最後の授業で知ったことを追加して、グループで「コーヒー新聞」をつくってもらいます。時間内に終わらなければ宿題にしてもいいでしょう。
*高校生、大学生の場合は、新聞ではなく感想をまとめる宿題を出します。

